

市民と議員の懇談会【主な意見・提言・要望事項】

【1班】

10月20日（大原市民センター 自由参加14名）

- ① I L Cについて、最初はいい話だったが、最近リスクについての話があった。議員はリスクを知っていて決議をしたのか。
- ② I L Cでメリットを受ける先生方の講演のようだ。客観的な判断の話をしているようだが、水で薄めれば川に流せるようだ。トリチウムは放射性は薄いですが、体に入るとDNAを変性させる。空気中も放射化する。トンネルにも放射化して残る。心配は最終処分場となること。経済効果もさほどないと言われている。ほとんどの市民は知らないでのぼりなどを見ている状況だ。このまま進んでいくのは問題ではないか。リスクやデメリットをしっかりと市民に知らせてほしい。自分で調べれば出てくるが、市から配られるものしかない。学校でもそのような授業を行っているようだ。年内で方向性が出るようなので、その前にやってほしい。
- ③ 家庭ごみについて、前に住んでいたところと分別が異なる。燃えないごみの考え方も異なる。ここに来て疑問をもっている。
- ④ 市ではごみを焼却する方向で考えているように記事を見て捉えた。
- ⑤ 大原中学校の歩道や側溝の上に草があり、水はけが悪いので見てほしい。
- ⑥ 大原小学校に外灯がなく暗い。
- ⑦ 若い人の声も聞いてほしい。若い人も懇談会に参加できるように考えてほしい。
- ⑧ 大原バイパスについて、小学校前の道路を信号無視や右折レーンで追い越していく車がある。
- ⑨ 笹ノ田トンネルをもっと推進してほしい。
- ⑩ 道路整備について、市から各自治会に協力要請があり、春と秋に道路の草刈りや邪魔な木を切っているが、そのまま法面に重ねてほしいと言われる。側溝やますにたまったものはどうすればよいのか。支所の職員は2名しかいない。私たちが70歳代が中心となってやっているのだから、今後は難しいと感じている。末端のサービスは行政でやってほしい。
- ⑪ 大東地域では、今年子供が50人生まれ、4年後に保育園に入園する園児は50人ほどとなる。大東地域の幼児教育のビジョンがないまま認定保育園となるようだが、納得がいかない。協議した結果を伝えてほしい。大東地域が1つに

なるとすれば、興田地区、猿沢地区などは線路を越えた場所となる。何の話もない状況で決まったので納得がいかない。

- ⑫ 懇談会の意見がどうなったかという報告がない。議会だよりを有効活用して報告してはどうか。
- ⑬ 10～20年後の一関市のことを考えてやってほしい。もうじき介護が必要となる。若い人の意見を聞くことが大切だと思う。個人が書いたものが行政に届くようにしてほしい。施設があっても人材がなければ意味がない。発展には子供が必要。出産費用に補助金を出して一関市に人を集めてはどうか。
- ⑭ 人口が毎月100人減少している。人口が半分になる可能性がある。合理的なことをやると消滅してしまう。空き家に人を呼び寄せるのが大切ではないか。
- ⑮ ILCについて、なぜほかの人が手をおろしたのか理解したほうがよいのではないか。今までに行っていない実験もするので、目先のことでなく、立ち止まって考えてみてはどうか。
- ⑯ NPO法人のみんなの寺を立ち上げたのは石屋さんだ。一関市の認可だが、商売に利用されているのではないか。
- ⑰ 小学校の卒業式が、和装になって派手になってきた。和装を着られない子供が謝恩会に不参加した例もある。着せたい親の気持ちが強い。教育委員会でも検討してほしい。登壇者も革靴であるが、革靴は外履きであるので、体育館にふさわしい靴にしてほしい。
- ⑱ ごみ袋は色分けのほうがわかりやすいのに、どうして〇印にしたのか。
- ⑲ 政務活動費について、議会だよりを見て感じたが、遠いところに研修しているが、情報はどの程度反映されているのか。
- ⑳ 議会だよりについて、写真が載っているがシャッターチャンスの問題があるのではないか。目を閉じて居眠りしているようにも見えたりするので、うまく載せればよいのではないか。
- ㉑ 太陽光発電は非常に好ましいと思っているが、市に対するメリットはあるのか。自然破壊もある。そのような認識と対応はどうなっているのか。
- ㉒ ILCについて、トリチウムが出るようだ。六ヶ所村はトリチウムが垂れ流しとなっている。青森県はがんの死亡率が全国1位となっている。当初は工業団地を主とした開発という夢のある話でスタートしたが、来なかったため原発が来ることになった。2020年のオリンピックが終わると経済は落ち込む。政府が心配しているのは核廃棄施設。ILCの分野はもっと危機感をもってほしい。ILCは放射能施設ではないか。
- ㉓ ILCについて、議会活動としてのパンチがない。20キロメートルとなればトンネルは全て一関市内となる。外に向け、内に向けての発信が少ない。決まったら議会の役割を果たしてほしい。

- ②④議員定数は減らすのが一般的だが、一関市は香川県並みで少ないぐらいだ。川崎地域は2人議員がいたがゼロとなった。過疎だから議員はいらないという発想はやめてほしい。
- ②⑤まちづくりの会では盆踊りを行っている。当初お寺の夏祭りと合わせてという話があったが、行政から市の補助金を使うので、宗教色が強くなりうまくないという話だった。寺社を使った行政イベントもあるのに、行政がだめだと言うのは疑問である。

10月20日（大東コミュニティセンター 自由参加17名）

- ① I L C 誘致について、個人的には賛成でも反対でもない。デメリットについて話すように要望してきた。県が9月24日に説明したが、市は全くしていない。
 - ・1点目、市議会として、誘致推進を国に提出している。この時点でデメリットを把握していたか。
 - ・2点目、I L Cは放射能関連施設。ぶつけた時にトリチウムが発生する。水質汚染、空気汚染が心配だ。議員は勉強しているか。
 - ・3点目、リスクが明らかにされても推進するのか。議会基本条例、市民に対する誹謗、中傷は問題ではないか。特別委員会の議事録は問題だ。言動に注意してほしい。
- ② I L Cについて、経済波及もあると思うが、きちんと説明しないことは問題だ。トンネルについても、辺野古基地もそうだが、国がやるとなればどうにもならない。議会基本条例を守って、今以上に勉強してほしい。
- ③ バイパス問題について、渋民ルートも決まっているが、道の駅はどのようなになっているのか。
- ④ 少子高齢化について、高齢者が多くなる時代になるが、高齢者が社会をゆがめていると思う。小中学校は携帯の持ち込みは禁止で、高校は校内が禁止で、校外はよいとなっている。I T社会なのに子供たちに規制をかけている。どうして規制しているのか。もっと教えるべきではないか。
- ⑤ ごみ袋が新しくなった。5、6種類が1つになるのは合理的だと思っていたが、値段が高くなった。厚くなったとのこと。前の厚さでもごみ袋が破れた話は聞いたことがない。プラスチックやペットボトルなどは1キログラムほどなのに、10キログラム入るごみ袋を使わせるのはどういうことか。指定袋以外使えないのに、値段や厚さはいつ、どこで協議されて決まったのか。40%以上も値上がりしている。市民に説明があつて当然だと思う。
- ⑥ 今回のごみ袋は結ぶところがないとの苦情がある。
- ⑦ 広報の新年号で市長の挨拶があるが、配布は12月25日で違和感があつた。印刷時期や配布時期を考えてはどうか。
- ⑧ 市営バスについて、高齢者は農協に行きたいが、バス停が遠い。工夫次第でなんとかできるのではないか。東山地域は便利なようだ。
- ⑨ I L Cについて、興田地区での施設説明では、経済効果、デメリットは聞いたことがなかった。リスクの情報がなくてやむを得なかったと思うが、冷却時にトリチウムが発生する。湧水、地下水は安全性が確認されれば出すというが、水と分離できないもの。これが地上に出た場合、水道水はどうなるのか。内部被爆の場合は染色体に異常を来す。地元にも知らされていない。ぜひ、このよ

- うな方法で安全性を確保するというような詳しい説明会をしてほしい。
- ⑩一関市は、議会の公開は非常に進んでいるが、それに比べ、市はすぐに出していない。なぜ、そのように時間がかかるのか。関心があるので、できるだけ早く公開するように伝えてほしい。
 - ⑪会議録について、議員はフルネームだが、委員とか課長とかではわからない。発言者がわかるようにフルネームにすべきだ。
 - ⑫出張所問題について、地元で検討しているようだが、住民には検討案が何も出てこない。どういう経過か。
 - ⑬情報無線や屋外マストがあるが、限定的で聞こえないので、実態把握をしてほしい。
 - ⑭提言内容がどのように扱われたかわからない。松原地区のマストについては、大東町時代から言っているが解決しない。少子高齢化問題があったから合併した。未だに解決していない。原因も結果も示されない。人が減れば税収減で財源を失うことになるがどう考えているか。基幹産業についてはどう考えているのか。働いて市外から収入をもってくるように考えてほしい。農業技術センターをフル活用して地産外商をしてほしい。学校教育はサラリーマンではなく起業家を育てる教育をしてほしい。
 - ⑮少子高齢化について、いつまでに止めるとか、ふやすとかあるのか。
 - ⑯バスはいつ見てもガラガラだ。スクールバスと併設利用すれば、効率的だ。いつまでも従来の考えを引き継いでばかりでいいのか。職員のバス利用もあったが、議員も利用していいのではないか。どうしたら利用できるかという視点で考えてほしい。
 - ⑰街道下に単身者用の市営住宅がある。捨てるごみの種類を間違える。20戸だが、市でゴミ箱を設置できないか。市では、入居時に自治会に入るように指導していない。災害時には困る。
 - ⑱ゴミ処理場の熱量を利用して、併設した温水プールをつくってほしい。市営プールは夏場のみの利用となる。今は奥州市江刺のプールを利用している。
 - ⑲ILCについて、デメリットを教えてほしい。子供たちへの洗脳という話も出ている。もっと大人に説明してはどうか。
 - ⑳少子高齢化について、紫波町のオガールには年間700万人くらい来ている。よい事例もあり、調べて知っている方は教えてほしい。
 - ㉑ILCの問題について、特別委員会の内容を見てほしい。世の中、賛成、反対どちらがあってもよい。行政に対して、市長に対してははっきり言わないので問題だ。
 - ㉒ILCの技術的な勉強をしているのか。それをしないで賛成もない。行政が市民に対して行わなければならない。県の説明から1カ月たっている。

- ⑳トリチウムは非常に厄介なもの。やり方が逆だ。それを言うのが議員の立場だ。これだけリスクが出てくると問題だ。
- ㉑ I L C 推進の方のみでなく、放射能の専門家の話も聞くべきだ。
- ㉒人口減少を許容しているということだろうが、人口減少したときの対応は当然考えているのか。
- ㉓ I L C が来れば人口が 6000 人ふえると言っているが、北上市は企業誘致、奥州市は観光で人口増を目指している。
- ㉔立候補するときは個人だが、会派に入ると全て同じ意見となるのが不思議だ。自分の信念を通してほしい。
- ㉕屋外マストは 3 回調査してもらったが地形的に入りにくいとの話だった。1 基 400 万円、500 万円かかるのなら別の方法もあるのではないか。

10月20日（室根曲ろくふれあいセンター 自由参加9名）

- ①議会改革の具体的内容について聞きたい。（質問のあり方、常任委員会、予算、決算審査特別委員会の審査方法、議会基本条例の見直しについて）
- ②視察は同規模の自治体を視察しないと意味がないのではないか。また、議員と職員と一緒に視察してはどうか。
- ③道路用地の未登記については、当局に急ぐように要請してはどうか。
- ④議員定数については、現行の30人が妥当で、減ると地域の声が行政に届かなくなる。
- ⑤議員報酬については、資料を見ると宮城県が高いと感じた。報酬が下がるとモチベーションが下がるので、高くても活動に生かせればいいのではないか。
- ⑥議員みずから政策提言をしたらよいのではないか。人口が少なくなる中での政策を議員も市も取り組んでほしい。
- ⑦室根地域の上下水道の普及率が低い。浄化槽をつけても、今後の見通しがわからない。大きな家で維持費がかかるなど、住み続けることに不安がある。また、市水道ではないので大腸菌も検出される。安全対策をどのように考えているか。
- ⑧勸請の道1300年ということで、調査をして、塔を建てたりしているが、県をまたいでの予算になり、気仙沼市と共同的な予算を組むのが難しい。
- ⑨QRコードなどで観光地を説明するポータルサイトを市で考えてほしい。クレジットカードでの支払い対策も進んでいない。観光地としての受け入れの整備をしてほしい。
- ⑩人口減少対策として、日本語を話せる優秀な外国人が居住してほしい。
- ⑪空き校舎の活用が必要ではないか。リフォームして遊び場として活用する業者もあるので、参考にしてほしい。
- ⑫学校の誘致も必要ではないか。若者を呼ぶ対策となる。釘子小学校跡地も利用されているが、地元の人と学生の交流がないようなのもったいないと感じる。学生との距離を近くする対策が必要ではないか。
- ⑬ILCでの地域おこしの方向となっているが、もっとローカルなものに目を向けてほしい。アメリカでも、人口の多いニューヨークでなく、ポートランドのほうが人気がある。研究者が来ても、地元の人との格差ができて上手くいかないのではないか。
- ⑭ILCは核施設なので、地元での説明が必要ではないか。問題はトリチウムで、外部被爆ではなく内部被爆を起こす。リスクをきちんと話してもらわないと賛成できない。
- ⑮懇談会の参加人数が少ない。生で議員の声を聞いたことがない。平日の夜に開

催するなど、やり方を考えてはどうか。

- ⑩新しいバイパスができたが交通安全施設がなく、横断歩道が全くない。県に要望してほしい。また、道路の下をくぐるボックス部分に照明がない。
- ⑪国道 284 号線のトンネル出口について、気仙沼管内は交通安全施設がしっかりしているが、一関市側には交通安全施設がない。

【2班】

11月20日（小梨市民センター 自由参加11名）

- ①市民センターが指定管理になったがサービスはどうなったか。経費削減になった費用は何に使われているのか。
- ②この地域は市水道になるのか。
- ③千厩地域の除雪業者がやめたが、今後どうなるのか。
- ④懇談会で出された要望がどうなっているのか回答がない。
- ⑤議会改革は早期に取り組むべき。
- ⑥地域要望はどこに持っていったらよいのか。
- ⑦要望に対する優先順位は誰が決めるのか。
- ⑧バスがなく買い物や通院に困っている。タクシーを使うと5,000円かかる。
- ⑨デマンド型乗り合いタクシーを導入する場合は、地域ごとに曜日や時間を決めて運行すればよいのではないか。
- ⑩デマンド型乗り合いタクシーについては、小梨地区協議会で検討したので情報を出したい。
- ⑪千厩小学校の通学時の街頭指導に安全上問題があるのではないか。
- ⑫千厩小学校には花壇がないが、教育上問題ではないか。
- ⑬旧千厩小学校の視察が許されないのはなぜなのか。
- ⑭旧清田小学校跡地利用を検討してほしい。
- ⑮敬老会の予算配分は、参加者数の平均で行っているが、参加者が多いところは不利になるので改善してほしい。
- ⑯落合橋をスクールバスが通れないのはなぜか。
- ⑰県立病院は、科をまたぐ場合でも紹介状が必要で利用しづらい。予約制となっていて急患はどうしたらよいのか。
- ⑱デマンド型乗り合いタクシー導入のスケジュールを示してほしい。
- ⑲市民と議員の懇談会は回答もなく、意義は何かあるのか疑う。
- ⑳ILC誘致についての市民合意がなされていないのではないか。
 - ・リスクの説明がない。
 - ・トリチウムの処理策はあるのか。
 - ・風評被害が出て影響が大きい。
 - ・市議会では2回、誘致の決議を行っているが、リスクを理解していなかったのではないか。
 - ・六ヶ所村での核廃棄物施設のように住民が分断された事例もあるので、当市もILCで分断させてはいけない。

- ②①千厩地域で進めている基盤整備で所有者のデータが公表されていないようだが、公表してほしい。
- ②②まちづくり振興策では、自然を生かしてアメリカで一番好かれる都市になったポートランドの事例を学んでほしい。
- ②③きょうはJAまつりの日だった。懇談会の日程を検討してほしい。

10月20日（一関市役所千厩支所 自由参加 14名）

- ①懇談会の回数をふやしてほしい。
- ②議員定数削減について議長が発言することは不適切ではないか。
- ③千厩町体育館裏の道路崩れの改修をしてほしい。
- ④千厩町テニスコートと道路向かいの駐車場の横断が危険なので、清田2の橋の下から国道284号線の取りつけ道路を改善してほしい。
- ⑤懇談会の参加者が少ないので、改善してほしい。老人クラブもほとんど参加していない。
- ⑥台風などの災害への対応を検討してほしい。
- ⑦南光病院跡地に老人関連の施設を建設して利用したらどうか。
- ⑧旧清田小学校の跡地を運動会などの行事に利用させてほしい。見学会もできない。地元へ無償譲渡できないか。小梨市民センター清田分館を旧清田小学校に移転してはどうか。
- ⑨先日の台風の避難先が、防災マップと支所の周知に違いがあった。
- ⑩議員定数は30人でよいのではないか。
- ⑪千厩の花の駅に産直施設を開設してほしい。
- ⑫千厩支所に、建設農林センターなどが入り、会議室が減って不便になった。
- ⑬市役所の畜産担当者を適切に配置してほしい。
- ⑭ILC誘致で何がよくなるのかわからない。税金・保険料は安くなるのか。
- ⑮1人暮らし世帯には、下水道負担金は重い、分割払い制度などを丁寧に説明すべきではないか。
- ⑯敬老会の予算配分を公正適切に行ってほしい。
- ⑰認知症対策にヘルプマークを普及してほしい。
- ⑱ILCのリスクを知らせるべきではないか。

10月19日（田河津市民センター 自由参加6名）

- ①議員定数など、改革の方向はまだ決まっていけないようだが、ふやすということは理解できない。
- ②議会改革のICT化とは何か。
- ③議員定数について、合併で削減されて住民の声が届かなくなった。
- ④防災無線は40%ぐらいの世帯に聞こえていないので、マストを増設してほしい。
- ⑤FMあすもは、家の中にいるとは限らないので外でも聞こえるマストが必要ではないか。
- ⑥ICT化について、パソコンなどの機器を使えない高齢者が多い。この地域は62世帯あるが、80歳以上の世帯が13世帯ある。ICT化の教育も必要ではないか。
- ⑦人口減少、若者の定住の政策が必要ではないか。
- ⑧ILCで人口増になるのか。
- ⑨ニホンジカの対策が必要ではないか。

10月19日（東山地域交流センター 自由参加8名）

- ①議会改革について、議員の質を上げるべきではないか。（調べればわかるような質問などをしているのではないか。）会派で将来に向けた質問を行うようにしてほしい。
- ②懇談会で出された要望に対する回答がなく、言い放しになっているのではないか。
- ③前にも要望したが、浄化センターの停電対策がなされていない。
- ④松川地区野平の市道の歩道段差が改善されないが、行政区などから文書で要望を出さないとだめなのか。懇談会で出される要望では改善されないのか。
- ⑤浄化センターを見学した。空き地が広く残っているので、健康増進用の広場や緑地などをつくってほしい。
- ⑥松川地区野平の道路は石灰で真っ白で、空気も汚い。支所や企業に要望して幾分よくなったがまだまだ不十分だ。地元の役員から、要望については、個人で動かないように注意された。
- ⑦狛鼻溪付近のバイパスに信号機が1基しかなく危険ではないか。
- ⑧北上製紙やNECの撤退を避けられなかったのか。雇用の場がなくなってしまい、若者が市外へ出て行ってしまう。企業誘致に力を入れてほしい。
- ⑨川の柳の木が水害のもとになるので伐採してほしい。
- ⑩ILCの取り組みがおくれているのではないか。反対している方の理由は何か。
- ⑪議員の政務活動費が少なく調査活動もできないのではないか。報酬についても年収800万円でもよいが、しっかりと活動してほしい。

【3班】

10月23日（永井市民センター 参加12名）

<全般>

- ①花泉から登米までの道路が狭いので改修してほしい。
- ②永井地区の一部では防災無線（マスト）が聞こえない。
- ③土砂災害、地震等に対する災害予防をしてほしい。
- ④森林組合の保険の給付について、職員が公平に対応してほしい。
- ⑤永井地区は宮城県との県境なので、相互利用できるように登米市のバスを花泉地域へも通してほしい。
- ⑥永井地区では、登米市の葬儀社を利用する人が多いが、登米市の火葬場は使用料が高いため、相互利用できないか検討してほしい。
- ⑦花泉小学校統合後の空き校舎をどのように利用するのか。
- ⑧ごみ焼却施設はどのようになるのか。
- ⑨花泉地域のプールを改修してほしい。
- ⑩女性の参画、世代間交流を推進してほしい。
- ⑪永井地区に公共施設がなくなり疎外感がある。末端に目を向けてほしい。
- ⑫支所ごとに自由に使える予算はあるのか。
- ⑬政務活動費をどのように利用しているのか。

<議会改革>

- ⑭財政状況を考えると、議員定数を減らすのは賛成である。
- ⑮議員を専門職化して報酬をアップさせ、議員の質を向上させてほしい。
- ⑯身近に議員がいると親近感がわき情報交換ができるため、議員定数を増員してほしい。
- ⑰議員のなり手がいない。選挙で地域の活性化をしてほしい。
- ⑱議員は市民と行政のパイプ役、川崎地域に議員がいないのは問題ではないか。
- ⑲市民ももっと勉強が必要である。

<ILC>

- ⑳ ILCの誘致は六ヶ所村が見本となる。
- ㉑9月24日のセミナーに参加したが、ILCの合意形成ができているのか。
- ㉒ ILCによるトリチウムがとても心配。岩手大学の教授から ILCではトリチウムが福島県の10分の1出ると説明された。
- ㉓ ILC誘致による一関市の負担はどのようになるのか。

- ②④ I L C 誘致は慎重になるべきである。
- ②⑤ 将来 I L C の事業が終わった後に施設はどうするのか。

10月23日（一関市役所花泉支所 参加10名）

<全般>

- ①河川愛護について、河川の清掃に1カ月1,000円かかるのはどうしてか。
- ②自宅付近の防災無線（マスト）がうるさい。
- ③自宅付近の街路灯がまぶしい。
- ④農作業で焼却したごみが田んぼに入ってくる。
- ⑤一関市の財政状況は厳しい。議会で財政についての発言、質疑が少ない。県内外の財政状況を調べている。
- ⑥花泉地域のプールを改修してほしい。
- ⑦スクールバスの運行方法が市内の学校でも違いがある。
- ⑧中学校の部活動を任意加入にしてほしい。
- ⑨小学校のクラス人数を岩手県で推奨している35人学級にしてほしい。
- ⑩花泉小学校付近に危ない通学路があるので改善してほしい。
- ⑪側溝の土砂処理について放射能の関係で処理できない。
- ⑫中・高校生、高齢者の輸送アンケートをしているが、その結果はどうなったのか。
- ⑬合併前は花泉町内で人を集める事業を行ったが、合併してからはないがしろにされている。
- ⑭協働アクションプラン、地域協働体の理事、地元の資源を利用して地域をつくったらいいのではないか。
- ⑮一関市の財政状況は厳しい。議会として財政に関する監視機能を発揮してほしい。
- ⑯財政調整基金が少なく、人件費が高い。近隣市町村との比較が必要である。
- ⑰平成28年3月ころに「雇用促進住宅」に関する請願を提出したときに議員が中立の立場ではなかった。

<議会改革>

- ⑱議会のあり方や財政について、会派で勉強会をしてほしい。
- ⑲議員が提言を行っていくためには、政務調査費が足りないのではないか。
- ⑳議員定数を減らすことも、報酬を減らすこともない。

<ILC>

- ㉑ILC誘致のようなばくちを打つのではなく、地域の現状を改善してほしい。
- ㉒放射線廃棄物の最終処分場になることが心配である。
- ㉓「ILC誘致を考える会」はILCを反対しているのではなく、メリットだ

けではなくリスクも説明してほしいと市に要望しているが、何ら説明がない。

- ②④ 学術会議では市民の合意が必要と記載されているため、リスクの情報を説明してほしい。
- ②⑤ 市議会条例では、市議会議員は市長と対等の立場で説明を要望する役割がある。
- ②⑥ 平成 24 年 9 月時点で議員としてリスクに関することを認識していたか。
- ②⑦ I L C の特別委員会では、I L C のリスクについて説明を聞いているのか。
- ②⑧ I L C の特別委員会では、メリットとデメリット両方の専門化から説明を聞いてほしい。
- ②⑨ I L C によるトリチウムがとても心配。岩手大学の教授は I L C ではトリチウムが福島の 10 分の 1 出ると説明された。

10月24日（藤沢市民センター 参加10名）

<全般>

- ①森林組合では、くぬ木は成長が早いので植えることで温暖化対策になる。
- ②市でも林業に取り組んで、高齢者や障がい者の雇用の場としてほしい。
- ③空き家対策について、農業の軽減だけではなくU・Iターンができるように進めてほしい。
- ④農業の高齢化が進んでいるので、一関市の農業の方向性を検討してほしい。
- ⑤運転免許返納制度と福祉制度を一緒にせずに対応してほしい。
- ⑥エネルギーは原発に頼らないでほしい。
- ⑦県交通が通っていると市営バスがない。県交通は料金が高く、いづれなくなる。県境を踏まえた公共交通網を検討してほしい。
- ⑧企業が減り、子供が市外へ出て行き悪循環だ。一関市全体で取り組んでほしい。
- ⑨「吉高」から「東和町」にトンネルを通してほしい。
- ⑩ブロイラーの人が堆肥処理を半分は地元、半分は二戸市で処理して困っている。
- ⑪一関市の花は「なのはな」だが、植樹祭で「ひまわり」の種を渡した。
- ⑫「いじめ問題」について、複数の議員に相談したが対応が全く異なった。教育委員会や市にも相談したが、対応がよくなかった。

<議会改革>

- ⑬議員定数については、本人が身を切る思いで進めてほしい。
- ⑭議員は地域枠を設けたほうがいいのか。
- ⑮地域から議員がいなくなると地域の課題が反映されない。
- ⑯第三者委員会のように有識者を入れて進めてはどうか。
- ⑰地域の声を聞き、開かれた議会にしてほしい。
- ⑱議員としてしっかり活動をしてほしい。

<ILC>

- ⑲ILCによるトリチウムがとても心配。岩手大学の教授はILCではトリチウムが福島の10分の1出ると説明された。
- ⑳ILCのメリットだけでなくリスクも説明してほしい。
- ㉑ILCのメリットを説明しているが、誘致されても本当に実現できるのか。
- ㉒ILC誘致による一関市の負担はどのようなになるのか。
- ㉓ILCでまちづくりをするのではなく、まちづくりの中でILCを推進してほしい。
- ㉔科学者が地元にお金を落とす仕組みをつくってほしい。

- ②⑤ I L Cはリスクがあるので反対だ。I L Cで外国人は来ない。
- ②⑥ I L Cは第三者委員会を設けて検討するべき。
- ②⑦ イギリスの科学者が、日本人は我々に感謝すべきと言ったことに腹が立った。

10月24日（藤沢市民センター黄海分館 参加11名）

<全般>

- ① 黄海川は洪水対策河川にしてほしい。
- ② 予算は人口割りではなく頑張っている地域に充ててほしい。
- ③ ふるさと納税にもっと力を入れてほしい。
- ④ 黄海分館で月に1回勉強会をしている、黄海分館を市民センター化してほしい。
- ⑤ 市民センターの利便性について、市民が気軽に利用できるようになってほしい。
- ⑥ 就職先がなく、収入の格差もあり、結婚できないなどの課題がある。
- ⑦ 公共交通機関を利用している人が少ないし、本数も少ない。
- ⑧ 藤沢地域には市営バスが通っていない。藤沢地域の住民は我慢している。
- ⑨ 通学のためにバスを利用したいが、料金がなくて利用できず、家族が自家用車で送っている。バス料金の現物支給をしてほしい。
- ⑩ 北上川に平行している道路に歩道がなく危険である。
- ⑪ 少子高齢化に伴い、特に過疎地に対する市の取り組み方はどうなっているのか。
- ⑫ 地域おこしとして、木育事業、ウッドスタートを参考にしてほしい。
- ⑬ 地元にお金を落とす仕組みをつくってほしい。
- ⑭ 一関市と他市と比較して一般職員が多いのはどうしてか。
- ⑮ 北上川付近の道路の整備を進めてほしい。
- ⑯ 藤沢地域にある光栄荘が介護職員不足のため、入所希望があるのにベットが空いている。
- ⑰ 所得が低くて結婚できない、所得を上げる仕組みをつくってほしい。
- ⑱ 地域づくりのためリーダーを育成してほしい。
- ⑲ 単年度決算について余ったお金を使うのはやめてほしい。余った地域に感謝状を出したらいいのではないか。

<議会改革>

- ⑳ 議員改革は議員にお任せしたい。
- ㉑ 議員のなり手がいないので、議員報酬はあげた方がいいのではないか。
- ㉒ 議員定数は、減らされては困る。現状維持でいいのではないか。
- ㉓ 議員は間接的民主主義のため、主権者は誰かを考えてほしい。
- ㉔ コンプライアンス、情報交換のあり方、議会中継、議会の公開性について考えてほしい。

- ②⑤北上川付近の旧村から議員が出てこない。
- ②⑥身近に議員がいないと、情報交換ができない。
- ②⑦議員定数について、川崎地域には現在議員がいらないが、地域性をどのように考えているのか。
- ②⑧議員で結束して提言をしてほしい。

< I L C >

- ②⑨ I L C の現状と方向性を教えてもらいたい。
- ③⑩ I L C の誘致は六ヶ所村が見本となる。

【4班】

10月20日（中里市民センター 自由参加12名）

- ①議員選挙公約の達成度を発表したらどうか。
- ②一関バイパスが冬季通行どめとなった時、旧4号線を大型車が通り、騒音や振動、混雑などひどい状況になる。バイパスを拡幅して、平坦化してほしい。
- ③除雪がグレーダーからフロントローダーになり、雪を潰しているだけになった。
- ④三関地区の農業水路、排水路が農閑期に雑排水でひどい状態になっている。市長に話しているが改善されない。
- ⑤豊隆地区は耕作をやめたので水利組合が解散した。青線部分を市に寄附したいが市は受け取らない。下水路化された用水路となっている。
- ⑥前堀地区で祭りがあると車でいっぱいになる。市で大きな駐車場をつくり、災害時のために空き地を確保したらいいのではないか。
- ⑦下水道工事で道路がでこぼこしている。舗装は専門業者のほうがいいのではないか。
- ⑧議会での市長答弁が市民代表である議員に対して失礼だ。市長答弁が長いので質問のやり方を改めたらいいのではないか。
- ⑨議員は勉強して質問をしたらいいのではないか。会派の代表として質問をしたらいいのではないか。
- ⑩政務活動費は活動できる金額にしたらいいのではないか。
- ⑪介護について、職員が変わり、聞いても全然わからないことがあったので、適任者の配置をしてほしい。
- ⑫ごみステーションを新築アパートに設置することとなったが、25世帯にならなかったため設置できなかった。90世帯あるが2カ所しかない。ごみを残されても区長としては何もできないし、区長になる人もいなくなる。
- ⑬ILCは放射能を出す施設ではないか。トリチウムの問題がある。工事10年、使用20年、影響300年ではないか。国際入札なので、国内業者が受注できるとは限らない。データ解析で現地に滞在する必要はない。情報共有して納得した上で進めるようにしてほしい。
- ⑭議員定数はやりやすい人数でいいのではないか。減らせばいいというわけではない。
- ⑮三関白崎地区の避難所はJR大船渡線路沿いに行くことになっているがどうやって行けばいいのか。年をとったから免許証を返せばいいだけでなく、条件付きの免許でもいいのではないか。

- ⑩工業高校通学路の釣山下は街灯がなく暗い。
- ⑪市内業者だけの入札をしてほしい。
- ⑫老人福祉センターはあと2年で廃止とのことだが代替がどうなるのか知りたい。
- ⑬男女共同参画の事務局が変わり、申送りや引き継ぎが十分でない。
- ⑭水道工事の設計額が安いので、受ける人がいない。
- ⑮議会改革を頑張ってほしい。今回出された資料はよい。市政報告会をやった方がいいのではないか。
- ⑯空き家問題、空き地問題、地主不在、草刈管理など問題がある。
- ⑰狐禅寺地区の廃棄物問題で住民間にわだかまりが生じた。行政が市民間の対立を激しくした。議員は推進したがそのわだかまりをなくすために、何かすべきではないか。
- ⑱前堀地区は開発が進んでいるが、市に計画性が全然ないように感じる。

10月25日（巖美市民センター 自由参加12名）

- ①議員定数について、少なくなった場合どうなるのか。
- ② I L Cについて、メリットだけ言われていて、デメリットが言われていないため、市民が判断できない。
 - ・議会基本条例をきちんと守るのが議員の役目だ。
 - ・野村総研報告書、有識者会議、検討委員会で、放射能関連施設とされており、トリチウムは福島の10分の1で100兆ベクレルになる。本当に推進でいいのか議員は勉強すべきだ。
 - ・市長と一部の議員が言論を封殺するようなことをやっている。
 - ・9月24日の説明会で、平泉町に失礼なことを言った。議員は言葉に注意すべきだ。
- ③議員定数は花巻市や北上市並みの20名～24名でいいのではないか。
- ④市役所の審議会等に出席しているが、委員は勉強してきていて、審議内容に議会との差がない。議会は勉強不足で議論が白熱していない。
- ⑤議員は専任として報酬は上げていい。
- ⑥ I L Cについて、時間が限られているが住民対話を数多く開催してほしい。
- ⑦議会基本条例の監視と評価に沿ってあたるべきだ。
- ⑧議員の顔が見えない。議員定数を減らして声が届かなくなるのは困る。
- ⑨ I L Cは地下100メートルというが放射能があるからだ。
- ⑩巖美地区で太陽光発電事業が行われているが、学校のそばをトラックが頻繁に通るし、排水は幼稚園脇の水路に流れ込み、あふれるおそれがある。
- ⑪ I L Cは住民合意が大事である。住民の大半は知らない。問題は山積している。次世代の負担になることはしない方がいい。デメリットはかなり大きく、見逃せない。
- ⑫野良猫をふやさない、地域猫活動に理解と協力をしてほしい。
- ⑬国立高専の入学生の学力が低く、高めてから入学してもらいたいとのこと。卒業しても働く場がない。
- ⑭企業誘致がここ数年一関市ではない。働く場を工夫して設けてほしい。新市にある遺産を守ってほしい。
- ⑮ムカサリを人口対策の手段にできないか。
- ⑯巖美市民センターに体育館があれば、高齢者も運動ができ、医療費削減に結びつくのではないか。
- ⑰空き家対策として市外から人を呼んだらいいのではないか。
- ⑱最近の大雨で、土砂崩れを心配している。
- ⑲議員定数は市民とのコミュニケーションの濃度がどうであるかで、数ではな

いだろう。報酬は、金額に見合った活動であればいい。通年議会は現行報酬で賄えるのであればいいのではないか。当局には議員の質問にはきちんと答えてもらおう。委員会、基本条例は変える理由をしっかりと説明できるのであればいいのではないか。

- ⑳ 巖美溪の草刈りを年 2 回 400 人ほどのボランティアでやっている。これを大切にしていきたい。
- ㉑ 市民からの声を聞いたら、検討しその答えを市民に返してほしい。やり取りを頻繁にしてほしい。
- ㉒ 六ヶ所村では石油備蓄基地といていたが危険施設ができてしまった。ILCもそうならないとは限らない。トリチウムの問題がある。
- ㉓ 労働力の提供でしかないようなものではなく、地域でお金が回る仕組みをつくってほしい。
- ㉔ ILCでたくさんの人が来るとのことより、日本一住みたいまちを目指してほしい。
- ㉕ 議会改革は実のある結果になるようにしてほしい。
- ㉖ 原発事故の特別委員会はしっかり根気よくやってほしい。積極的に東電本社と折衝をしてほしい。
- ㉗ 巖美溪には景観条例がある。400 人以上の作業は高齢化により途絶えてしまうおそれがあるので、条例でのチェックが必要ではないか。

10月23日（川崎市民センター 自由参加16名）

- ①地域文化が昔と今とではどう変わってきたか検証すべきだ。
- ②市の計画があるが、行政の基本的なことに議会はどのように関わっているのか。見えるような活動をしてほしい。
- ③学校給食の食材の見積りの取り方について、東部は一括一発でなかなか取れない。西部は2カ月前に産直から取り、不足分は業者から取る。学校給食の基本的な考え方を聞きたい。農業振興にも関係するものではないか。西部と東部の交流をできないか。
- ④議員定数は具体的に何人か。
- ⑤タブレット化、IT化は、家庭にも普及の政策が必要ではないか。
- ⑥常任委員会はいくつあるのか。条例発議はあるのか。
- ⑦市広報の屋外マストに関しての市民の評価はどうなっているのか。区長を通じてアンケートを取る考えはあるのか。
- ⑧FMあすも専用ラジオを市ではどのように利用しているのか。
- ⑨雇用の状況はどうなっているのか。
- ⑩社会教育主事は増員になっているのか。
- ⑪7月30日の公共交通を考える会に出席したが、交通手段がない人はどうしたらいいのか。
- ⑫今、議会の状況がどうなっているのか、市の状況がどうなっているのか、市民には伝わってこない。
- ⑬企業誘致は広域的にと言わんとすることはわかるが、市は働く人を送ってやるだけなのか。関連企業など市としての雇用に深く切り込み、職場、人口、増収につなげられないのか。
- ⑭ILCの施設は使用后、放射性物質を貯蔵するようになるのではないか。議員が知識、情報を得て市民に教えてほしい。
- ⑮ILCは放射能施設であることを市民に説明すべきではないか。トリチウムの問題がある。ILCで人がたくさん来ると言うが、一関市が日本一住みたいまちでなければ人は住まない。つくばには人は住んでいない。
- ⑯千厩斎苑の男子トイレの鏡が傷んでいる。
- ⑰県道一関舞川線の横石鉄橋付近の改修が進んでいない。
- ⑱磐井病院の眼科を、本来の姿に戻してほしい。
- ⑲市政の大綱の予算化について、議会の要望はどうなっているか。
- ⑳行政と民間の共同が必要で、地域住民を巻き込んでいくことがいい結果になってくる。宮城県女川町の例を参考にしたらよい。発展させるために何をしたらいいのか。市全体のことでいい意見は出てこない。